

# EXERD

INSTRUCTION MANUAL

お買い上げありがとうございます。

SANWA PROPOのテーマ、ヒューマンテクノロジーを満載した1990年代のプロポEXERD。

気品と重厚さを兼ね備えたフォーマルな輝きは、偽りを許さず一切の虚飾をうけつけない頑強な意志と頂点に立つプロポとしての主張です。このプロポの性能をフルに発揮するためにも当説明書を十分にお読みいただき素晴らしいドライブフィーリングをお楽しみ下さい。

## INDEX

- |                 |   |                          |   |
|-----------------|---|--------------------------|---|
| 1. 特長           | ① | 7. スティックレバースプリングの調整方法    | ⑭ |
| 2. セットの構成と特性    | ③ | 8. スティックの長さの調整           | ⑮ |
| 3. 送信機の各部の名称    | ④ | 9. 走行前の送信機の点検について        | ⑮ |
| 4. モジュールの取り扱い方法 | ⑥ | 10. クリスタルの交換方法           | ⑮ |
| 5. 電池の交換方法      | ⑦ | 11. ニッカド電池使用の際の注意(オプション) | ⑯ |
| 6. 使用方法         | ⑧ |                          |   |

# 1 ▶ 特長

## [A] 送信機

- スティックから指を離さずにステアリングトリムが微調整出来るドライビングコントロールトリム。(実用新案出願中)
- ラップタイムや燃料計測などレースに不可欠なアラーム付ストップウォッチ。
- ステアリング特性をマイルド、ノーマル、クイックの3ポジションに簡単に切り換え出来るステアリングアジャスタブルレートコントロール。
- 走行中でも簡単にステアリングサーボの動作量を微調整出来るステアリングデュアルレート。
- ステアリングの左右の舵角を独立して調整出来るステアリングエンドポイントアジャスト。
- ダイレクトサーボホーンなどのニュートラル設定に便利なステアリングサブトリム。
- スロットル特性をマイルド、ノーマル、クイックの3ポジションに切り換え出来るスロットルアジャスタブルレートコントロール。
- スロットルHi側とブレーキ側の動作角を独立して調整出来るスロットルエンドポイントアジャスト。
- ニュートラル位置での微妙なブレーキ調整が走行時に出来るブレーキアジャストトリム。
- エンジンスタート時のアイドルアップをスイッチひとつで出来るスターティングポジションスイッチ。
- パワーコントロール重視のためブレーキ側は、エマージェンシー(ハード)タイプです。
- スティックは、ダイレクト感覚を優先したショートタイプスティック。
- 電波を出さずにRCカーのリンクエージの調整が出来るダイレクトサーボコントローラー。
- モジュール方式の採用により、27MHz↔新40MHzへの交換がワンタッチに出来ます。
- リンクエージに必要なサーボの動作方向をスイッチひとつで切換えが出来るリバーススイッチ。
- スティックヘッド及びスティックスプリングは、アジャストタイプです。
- ニッカド電池へオプションニッカドによりワンタッチで交換出来ます。

## [B] 受信機

- FMカー用超小型、軽量のマイクロ受信機です。
- 従来の受信機より減電特性がよくなり走行時間が長くなりました。
- クリスタル交換式ですので送信機と同じバンドの受信機用クリスタルを挿入すればお好みのバンドに交換出来ます。
- FMカー用XL 専用クリスタルは振動による破壊や接触不良を防止するため、保護キャップ付です。
- アンテナ線は50cmと短かく、搭載が非常に楽になりました。
- 回路は受信帯域巾をCB妨害、デッドポイントに有利な狭帯域設計。余分な雑音を拾わない適正感度設計で妨害電波に対処されたより安定した性能のレーシング専用受信機です。
- ダイレクトサーボコントロールが出来る受信機です。

## [C] サーボ

- ファイナルギヤをベアリングで固定し、ニュートラル特性は他に類のない高性能です。
- ファイナルギヤは超硬度のエンジニアリングプラスチックを使用し、ギヤのガタ、ロスを皆無にしました。
- モーターは消費電流が少なく、高トルク、そして立ち上りの素早いコアレスモーターを使用しています。
- 念の入った防水対策を施しました。水分の進入路を特殊シリコーンで壁を作り、水分をシャットアウトしました。(コンテストHC・コンテストHB)
- 電源電圧が変化してもニュートラルズレの発生しない減電圧対策回路を採用しました。
- 出力軸はスプライン式でニュートラル合せが容易に行えます。
- サーボホーンは丈夫なヘビィデューティーホーンです。(コンテストHC・コンテストHB)

## 2 セットの構成と特性

### [A] 送信機

- 出力 500mw
- 出力表示 メーター表示式(電池容量減量式)
- 変調方式 FM
- 周波数 27MHz帯①～⑥バンド  
40MHz帯⑦～⑨バンド  
クリスタル交換式
- 電源 単3乾電池×8本  
オプション-MODULE 7 TX NICD
- 重量 910g(乾電池含む)

### [B] 受信機

- 受信周波数 27MHz①～⑥バンド  
40MHz⑦～⑨バンド
- 中間周波数 455KHz
- 電源 DC4.8～6.0V  
ニッカド電池又は、乾電池
- 寸法 30L×48W×19H (mm)
- 重量 30g

### [C] サーボ

- I. CONTEST-HC (エンジンレーシングカー用、EPバギー用)
- 速度 0.15sec(60°回転)

- トルク 4.0kg-cm
- 寸法 20.0W×39.0L×35.0H (mm)
- 重量 55g

### II. CONTEST-HB (エンジンバギー用)

- 速度 0.2sec(60°回転)
- トルク 5.0kg-cm
- 寸法 20.0W×39.0L×35.0H (mm)
- 重量 55g

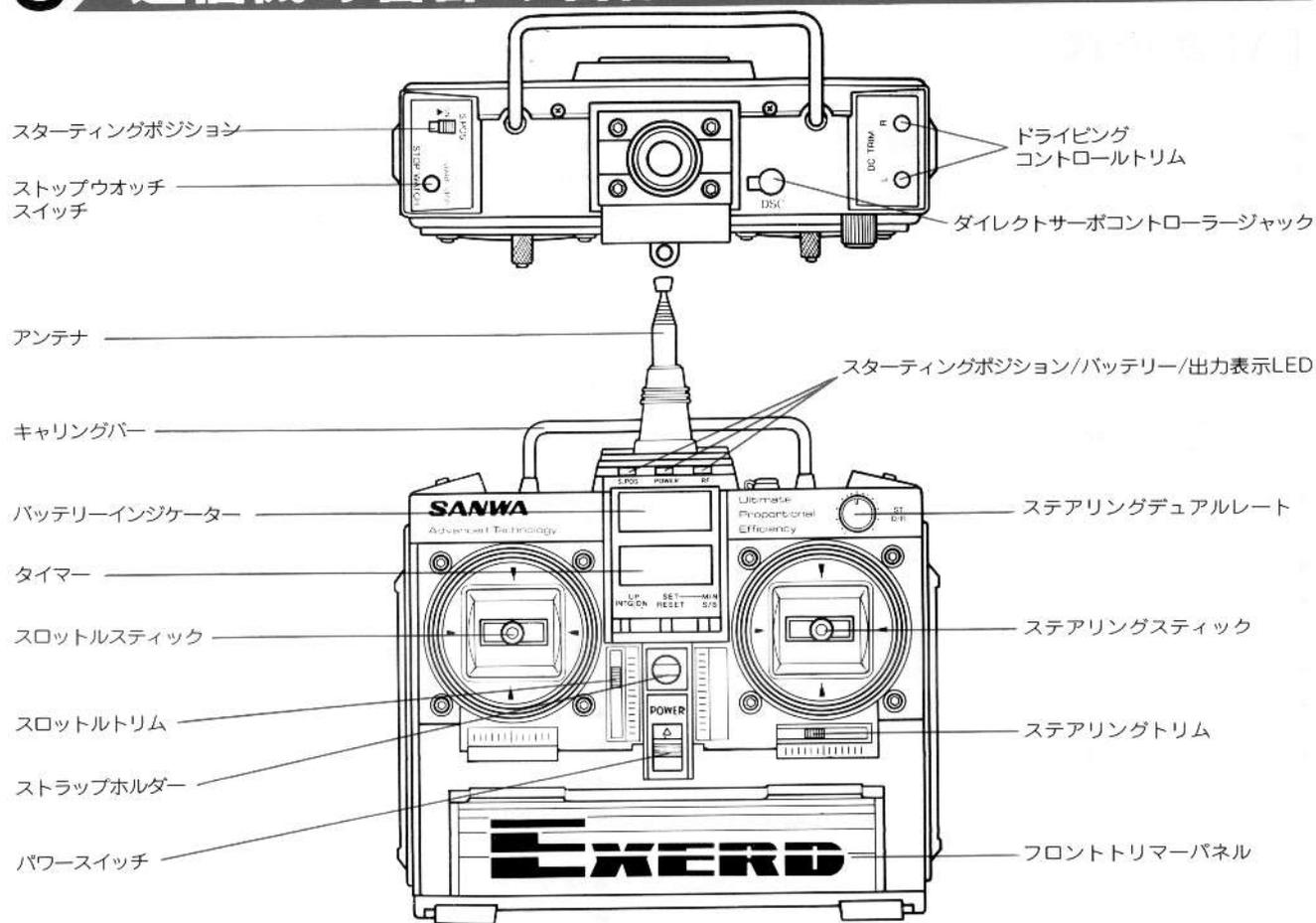
### III. SM-401HS (EPレーシングカー用)

- 速度 0.15sec(60°回転)
- トルク 1.3kg-cm
- 寸法 15.0W×31.0L×31.0H (mm)
- 重量 27g

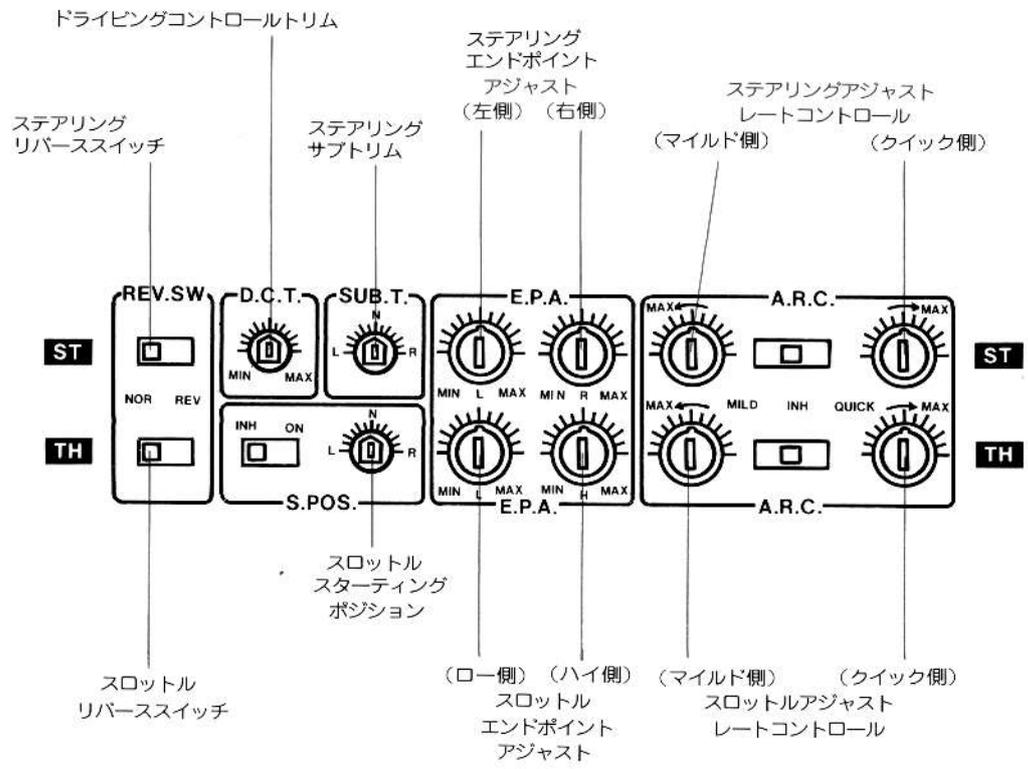
### [D] その他

- キャリングケース
- ダイレクトサーボコントローラーコード
- トリマードライバー(ホルダー付)
- バンドリボン
- DSC付スイッチハーネス
- 電池ケース
- 取扱説明書

### 3 送信機の各部の名称

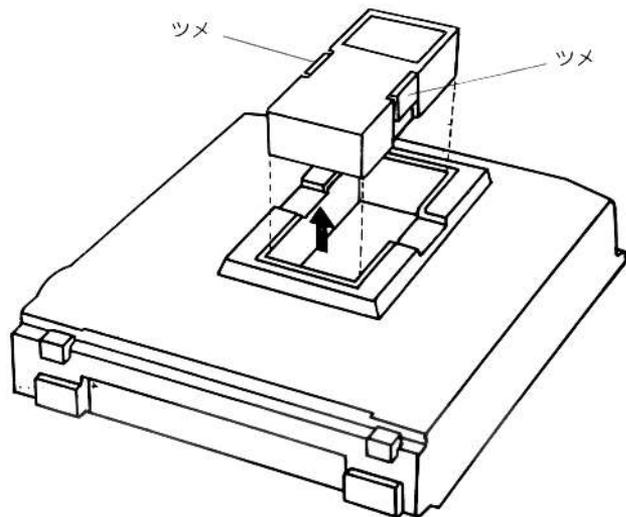


# [トリマーパネル内部]



## 4 モジュールの取扱い方法

両サイドのツメを押し持って上へ引っ張り出す。



エクザードは、モジュール交換方式になっていますので周波数帯の変更が可能で、バンド変更する場合にも即応出来ます。

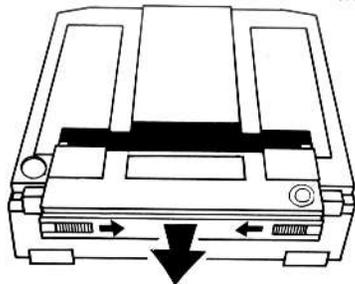
①使用周波数の変更の場合、送信機モジュールを抜き取り、内側にセットしているクリスタルを交換します。

②注意事項

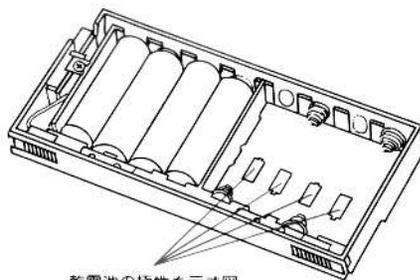
- モジュールは、エクザード専用モジュールのみ使用出来ます。
- モジュールの取付けは、確実に行って下さい。不確実な装着は事故の原因になります。スムーズに装着できない場合は、再点検して下さい。

## 5 ▶ 電池の交換方法

送信機裏面の電池BOXを外し極性(+・-)をまちがえないよう単三乾電池8本を挿入し送信機に装着します。



ロックを外しスライドさせながら外す



乾電池の極性を示す図

オプションのニッカド電池を使用される際は下記の事項を守って下さい。

1. 乾電池パックを外し、オプションのニッカド電池パックを装着します。
2. お買い上げいただきましたら最初に必ず20時間、充電してから御使用ください。
3. 2回目からの充電は13時間以上充電して下さい。前回の走行時間の多少にかかわらずこの13時間の充電は、お守り下さい。また長時間御使用にならなかった時もお買い上げ時と同じ20時間の充電を行なって下さい。
4. ニッカドバッテリーパック単品で充電可能です。必ず当社の充電器(OE-13C)を御使用下さい。他社の充電器又は、OE-13C以外の充電器で充電されますと、寿命が短くなったり、十分に充電されない場合があります。
5. 送信機に装着して充電する場合、電源SW ONの場合も充電可能ですから、必ず電源SW OFFを確認してください。
6. 特に気候が高温時、自然放電が活発です。御注意ください。-10℃以下、45℃以上の使用はできるだけさけてください。正常な性能を発揮しない場合があります。

## 6 使用方法

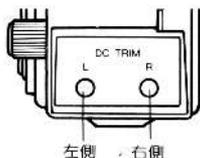
### [A] 送信機

#### ● ドライビングコントロールトリム (DCT)

今までレース中にアクシデントやタイヤの片減りなどによる直進性の変化はステアリングスティックを左右どちらかに微調整しながら走行するか、いったんRCカーを停止させステアリングトリムを修正していましたが、このドライビングコントロールシステムによりレース中でもスティックから指を離さずにトリム調整が簡単に出来るようになりました。

使い方としては

- 1) あらかじめDCTの動作量をフロントトリマーパネル内のDCTトリマーでDCTボタンの1ピッチの動作量を設定して下さい。
- 2) 送信機右肩上部にあるDCTボタンを押し、左右のトリムを調整して下さい。
- 3) ニュートラルをだす時は、L・Rを同時に押しして下さい。



注) ボタンを押し続けると、トリム位置が可変していきます。またそのまま押し続けるとトリムがロッ

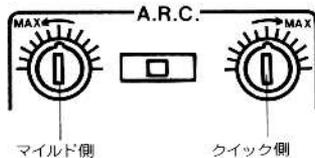
ク状態になりますのでその時はリンケージをやり直して下さい。

#### ● ステアリングアジャスタブルレートコントロール (ST-ARC)

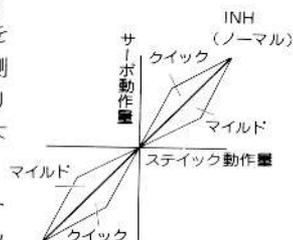
RCカーのステアリング特性や路面のコンディションなどに対してドライバーが対応しなければならない様々なファクターをプロボ側で自在に操作出来る機能です。従来のエクスポネンシャル機能を大幅に改善し、スライドスイッチの切り替えでクイック、ノーマル、マイルドの3段階にセットが出来、その調整幅もシビアに調整出来ます。

使い方としては、

- 1) まずスライドスイッチをINH(ノーマル)でRCカーをセッティングして下さい。
- 2) ステアリング特性がシビアな時は、マイルド側にスライドスイッチをセットし、あとはマイルド側のトリマーで自分のフィーリングに合う位置に調整して下さい。



- 3) ステアリング特性がマイルドで初期反応が悪い時は、クイック側にスライドスイッチをセットし、あとはクイック側のトリマーで自分のフィーリングに合う位置に調整して下さい。



- 4) アジャスタブルレートコントロールを使用しない人やセッティングのきまらない時はスライドスイッチの位置をINHにして下さい。

#### ●ステアリングデュアルレート (ST-EPA)

走行中にコーナーなどでアンダーステア気味のためステアリングの舵角がたらない時やオーバーステアで巻き込みを感じた時に使用して下さい。使い方としては

- 1) ステアリング舵角調整つまみをMAXの方向にし、この時タイヤの切れ角を最大になるようにセットして下さい。

- 2) ステアリング舵角調整つまみをMAXから8の位置まで戻し、この位置で走れるようにRCカーをセッティングをします。

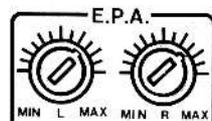


この使い方により、走行時のセッティングの幅が大きくなり、アンダーステアやオーバーステアを感じた時、ピットに入らないで送信機で微調整が可能になります。

- ステアリングエンドポイントアジャスト (ST-D/R)  
リンケージやシャーシーのロール特性あるいはタイヤ径などの違いから左右のコーナーリング半径が違う場合があります。このような場合に使用し、使い方は、EPAのLEFT・RIGHTともトリマーを↻へ廻すと舵角が大きくなります。

#### ★テクニカルアドバイス

EPAのLEFT・RIGHTのトリマーを図のようにMAXより1/4戻した位置に、セットすると走行中に左右の舵角を増減することが出来、セッティングの幅が大きくなります。



#### ●ステアリングサブトリム (ST-SUB・T)

ダイレクトサーボホーンなどのニュートラル設定に使用します。

使い方としては、

- 1) ステアリングトリムをセンターに合わせます。
- 2) ドライビングコントロールトリムのL・Rを同時に押し、ニュートラルを出して下さい。



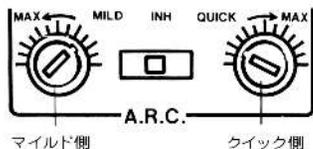
- 3) トリマーパネル内のサブトリムのトリマーでサーボのニュートラルを合わせます。

## ● スロットルアジャスタブルレートコントロール (TH-ARC)

エンジンや電動アンプなどのパワーレスポンスや路面コンディションの変化などによるデリケートなスロットルワークをクイック、ノーマル、マイルドの3段階にセットが出来ます。

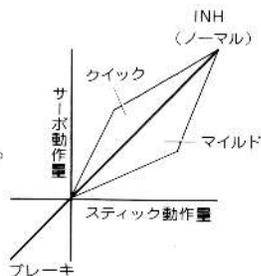
使い方としては、

- 1) まずスライドスイッチをINH (ノーマル)でRCカーをセッティングして下さい。



- 2) パワーレスポンスがきつい時は、マイルド側にスライドスイッチをセットし、あとはマイルド側のトリマーで自分のフィーリングに合う位置に調整して下さい。

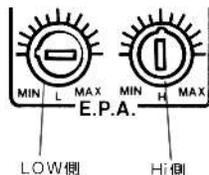
- 3) パワーレスポンスがマイルドな時は、クイック側にスライドスイッチをセットし、あとはクイック側のトリマーで自分のフィーリングに合う位置に調整して下さい。



- 4) アジャスタブルレートコントロールを使用しない人やセッティングのきまらない時はスライドスイッチの位置をINH にして下さい。

## ● スロットルエンドポイントアジャスト (TH-EPA)

リンケージなどでコントローラーやキャブレタのストロークが合わないときに使用します。



- Hi側のストロークはトリマーを ↺ 方向へ廻すと舵角が少なくなります。

- Low側のストロークはトリマーを ↻ 方向へ廻すと舵角が少なくなります。

## ● ブレーキアジャストトリム (スロットルトリム)

エンジンカーや電動カーなどニュートラル位置でブレーキを使用する場合に有効です。またエマージェンシーブレーキ側を使用する時にもハイポジションは変化しないので、たいへん便利です。

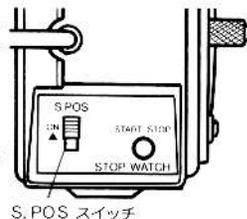
## ● スターティングポジションスイッチ (S・POS)

エンジンスタート時のアイドルアップがスイッチひとつで簡単に出来、エンジンの始動性がたいへん良くなります。

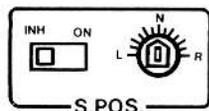
使い方としては、

- 1) エンコンリンケージをおこないスロー位置をセットする。

- 2) 送信機上部左肩にあるS・POSスイッチをON側にセットする。(S・POS表示LEDが点滅します。)



3) フロントトリマーパネル内のS. POS スライドスイッチをON側にセットして下さい。



4) S. POS トリマーでスロットル開度を任意の位置にセットします。

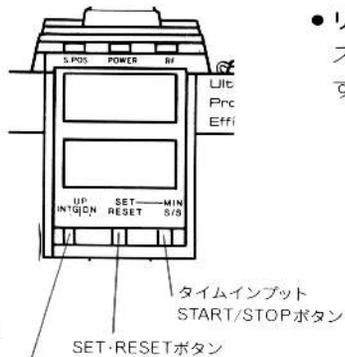
5) 送信機左肩上部のS. POSスイッチをOFFにして下さい。

6) 電動カーなどS. POSを使用しない場合は、フロントトリマーパネル内のスライドスイッチをINH側にセットして下さい。

#### ● アラーム付ストップウォッチ

ラップタイムの計測やエンジンカーの燃費計測や給油の必要なレースのピットタイミングにも利用出来ます。

①加算タイマーとして使用する場合…モードスイッチをUPにします。スタートは送信機上部左肩にあるSTART/STOPボタンを押します。又、再度ボタンを押せばストップします。計測は最大59分59秒まで出来ます。アラームは、TX本体のパワースイッチが、ONの時、START/STOPボタンを押すと鳴ります。計測後のリセットは、中央にある、RESETボタンを押して下さい。



②減算タイマーとして使用する場合…モードスイッチをDN

モードスイッチ

にします。カウントさせる時間のセットは分単位で出来ません。時間は中央のSETボタン(RESETボタンと共用)を押したまま右のセットボタン、(START/STOPボタンと共用)を押してセットします。



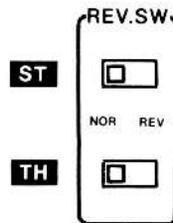
ストップウォッチボタン

アラームは加算と同じくボタンを押したとき、セットした時間から減算していき0になる10秒前から鳴り始めます。0を過ぎるとそのまま加算タイマーとして計測を続ける様になっています。

※アクティブタイマー表示機能…モードスイッチを、INTGにセットします。これで送信機のパワースイッチを入れていた時間が積算表示されます。リセットは電池BOXを外すと自動的に行われます。またモードスイッチをINTGにセットしリセットボタンを押してもリセット出来ます。

#### ● リバーススイッチ

ステアリング(ST)スロットル(TH)とも左側が正転です。

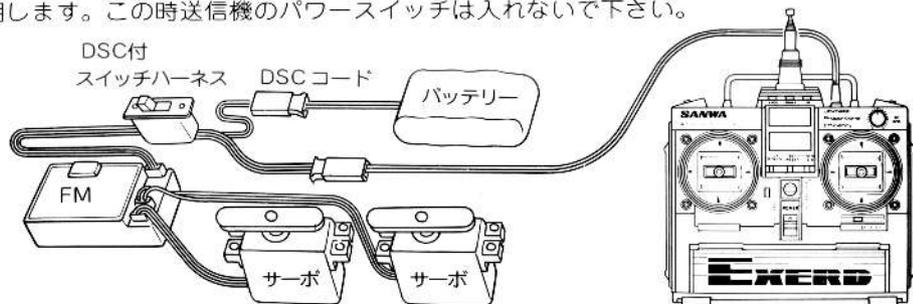


## ●ダイレクトサーボコントローラー(DSC)

同バンドを使用中にリンクージなどの調整をしたい時に使います。

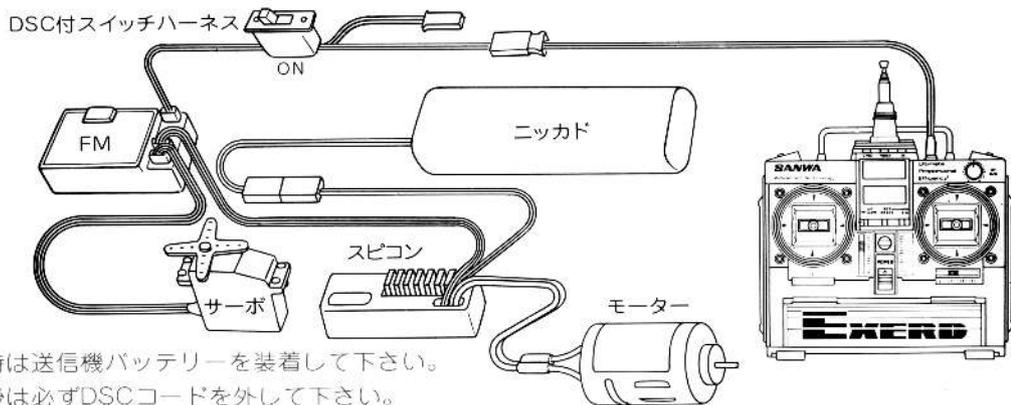
1) エンジンカー等のDSC付スイッチハーネスを使用時の使い方。

DSCコードを送信機上部にあるDSCジャックとスイッチハーネスの充電用コネクタに接続し、受信機のスイッチを入れ使用します。この時送信機のパワースイッチは入れないで下さい。



2) 三和電動アンプ使用時の使い方。

DSCコードを送信機上部にあるDSCジャックとスイッチハーネスの充電用コネクタに接続し、次に受信機のバッテリー差し込み口へ接続して受信機のスイッチを入れ使用します。この時7.2Vのニッカドバッテリーを接続して下さい。(送信機のパワースイッチは入れないで下さい。)



(注) DSC使用時は送信機バッテリーを装着して下さい。  
DSC使用後は必ずDSCコードを外して下さい。

## [B] 受信機

- ケースの端にあるコネクター孔がついています。サーボの機能別に表示してある孔にサーボの各々のコネクターを差し込んで下さい。
- クリスタル交換式ですので送信機と同じバンドの受信機の水晶を挿入すれば好みのバンドに変換できます。
- クリスタルを振動による破壊や接触不良を防止のためクリスタルキャップは必ず装着して下さい。

### \* 共通電源への改造時の注意

共通電源を使用する場合、動力電池が7.2Vの場合は、必ず電源レギュレーター、(定電圧回路)がダイオードを入れ、電圧を下げて使用して下さい。また、改造時は配線をまちがえないようにして下さい。

⊕・⊖をまちがうとサーボや受信機が破損し、動かなくなります。スイッチを入れる前にもう一度⊕・⊖を確認願います。

接続方法が不明の時は、最寄りのSANWAサービスステーションにぜひ、お問い合わせ下さい。

※SANWAプロポに使用されているリード線は、すべて下図のような配線の順序になっています。

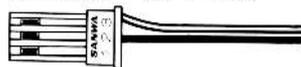
### サーボリード延長リード等



⊕線：赤色又は白い線が入っている  
⊖線  
信号線

(①信号線 ②-線 ③+線赤色又は(白線入))

### ミニ電池ケースハーネス



⊕線：赤色又は白い線が入っている  
⊖線

### ● 受信機コネクター番号のポジション表

受信機No	ポジション
1	ステアリング
2	スロットル(スピードコントロール)
BATT	バッテリー

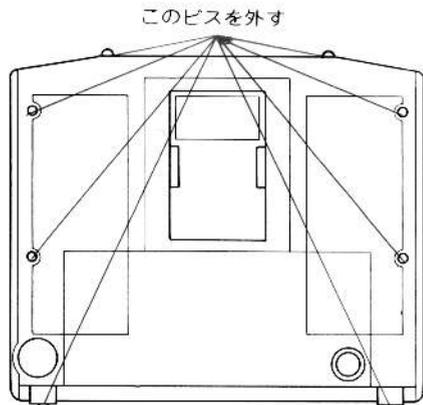
## [C] サーボ

- サーボをシャーシーに取付ける時は必ずアプソーバ・スリーブを使用して下さい。
- ピスにはワッシャを入れることにより、よりクラッシュに強くなります。
- ナットはネジロック等を塗るか、ロックナットを使用して振動でゆるまないようにして下さい。

- 電動カーなどでナイロンストラップやストラッピングテープなどでサーボを固定する時は、固定面に両面テープなどを貼り振動を緩和し、あまりきつく締めすぎないように注意して下さい。
- リンケージでサーボに無理がかからないようにエンドポイントアジャストで調整して下さい。

## 7 ▶ スティックレバースプリングの調整方法

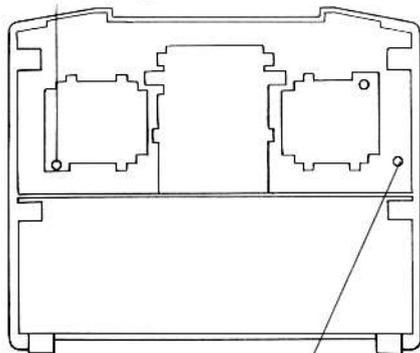
RF モジュールを外し、次の8コのビスを外すと裏ブタが開けられます。



RFモジュールを外す

各スティックのビスを回して、好みのスプリング強度に調整して下さい。右へ回すと強くなり、左へ回すと弱くなります。

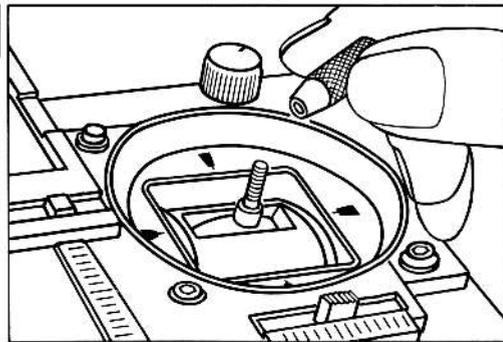
ステアリング



スロットル

## 8 ▶ スティックの長さの調整

スティックヘッドを左に廻しスティックヘッドを外し、付属のスペーサーを入れて下さい。



## 9 走行前の送信機の点検について

- 電池容量が完全であるかチェックして下さい。メーターが目盛④以上であれば正常です。④以下であれば新しい電池と交換して下さい。
- 各機能の動作状態、設定にまちがいがいかチェックして下さい。
- 念の為、距離テストを行って下さい。  
サーキットの端にRCカーを置きアンテナを伸した状態で反対側へ行き動作を確認して下さい。
- プロポは直射日光などの熱に弱いので、車の中や炎天下に放置しないで下さい。

## 10 クリスタルの交換方法

- クリスタルは必ず27MHzはSANWA-XL専用クリスタル、40MHzはSANWA-新40MHzカー用クリスタルをお使い下さい。
- クリスタルには送信機、受信機、AM、FMの表示がされています。まちがえないように注意して下さい。
- バンド交換の際は、必ず送信機のリボンも交換して下さい。

### ●使用周波数とクリスタルの区別

バンド	クリスタル及びリボンの色
27MHz 1バンド 26,995	茶
2バンド 27,045	赤
3バンド 27,095	橙
4バンド 27,145	黄
5バンド 27,195	緑
6バンド 27,245	青

バンド	クリスタル及びリボンの色
40MHz 61バンド 40.61	青 / 茶
63バンド 40.63	青 / 橙
65バンド 40.65	青 / 緑
67バンド 40.67	青 / 紫
69バンド 40.69	青 / 白

## 11 ニッカド電池使用の際の注意(オプション)

オプションのニッカド電池を使用される際は下記の事項を守って下さい。

1. 乾電池パックを外し、オプションのニッカド電池パックを装着します。
2. お買い上げいただきましたら最初に必ず20時間、充電してから御使用ください。
3. 2回目からの充電は13時間以上充電して下さい。前回の走行時間の多少にかかわらずこの13時間の充電は、お守り下さい。また長時間御使用にならなかった時もお買い上げ時と同じ20時間の充電を行なって下さい。
4. ニッカドバッテリーパック単品で充電可能です。必ず当社の充電器(OE-13C)を御使用下さい。他社の充電器又は、OE-13C以外の充電器で充電されますと、寿命が短くなったり、十分に充電されない場合があります。
5. 送信機に装着して充電する場合、電源SW ONの場合も充電可能ですから、必ず電源SW OFFを確認してください。
6. 特に気候が高温時、自然放電が活発です。御注意ください。-10℃以下、45℃以上の使用はできるだけさけてください。正常な性能を発揮しない場合があります。

# 修理依頼カード

このカードは故障状態を詳しくご記入のうえ必ず製品と  
いっしょにお送りください。

〒 \_\_\_\_\_  
ご住所 \_\_\_\_\_

フリガナ  
お名前 \_\_\_\_\_

電話 市外( \_\_\_\_\_ )  
( \_\_\_\_\_ )—

## 修理依頼要件

1回目 年 月 日

その他の状態

- 点検、オーバーホール。
- 全く動かない。
- サーボがガチャツク。
- 熱くなる。( \_\_\_\_\_ )
- 通達距離が短い。  
(約 \_\_\_\_\_ m)
- 水が入った。

ご意見・ご希望  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

## 修理依頼要件

2回目 年 月 日

その他の状態

- 点検、オーバーホール。
- 全く動かない。
- サーボがガチャツク。
- 熱くなる。( \_\_\_\_\_ )
- 通達距離が短い。  
(約 \_\_\_\_\_ m)
- 水が入った。

ご意見・ご希望  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

「???'」と思ったら……

動きがおかしかったり、「???'」と思ったときは次のことをもう一度見て下さい。

- 受信機の乾電池が減りすぎるとガチャつきます。電池を新しいものと取り替えてみて下さい。
- 送信機、受信機の乾電池は正しく入っていますか？  
極性（⊕、⊖）間違っていないか？
- 送信機、受信機の電源スイッチは“ON”になっていますか？
- 送信機のメーターは4以上に振れていますか？
- 送信機、受信機にクリスタルが入っていますか？  
クリスタルのバンドは同じになっていますか？
- コネクタは外れていませんか？
- 動作部分のリンケージ(セッティング)が固すぎませんか？

以上のことを確かめても正常に動作しないときは、お近くのサンワサービスステーションに保証書と修理依頼カードを付けてお送り下さい。

- 北海道サービスステーション  
札幌市白石区南郷通1丁目南10(松下ビル506) 〒003 TEL011(863)4564
- 東北サービスステーション  
仙台市日の出町3丁目9-1(卸売市場ビル2F) 〒733 TEL0222(39)1969
- 関東サービスステーション  
東京都台東区浅草橋3-18の1(KKKビル) 〒111 TEL03(862)8857
- 中京サービスステーション  
名古屋市西区新道2丁目4-21(西村コーポ301) 〒451 TEL052(562)5018
- 近畿サービスステーション  
東大阪市吉田札幌28-1 〒578 TEL0729(62)2180
- 中国サービスステーション  
広島市西区東観音町2-15(東観音コーポ201) 〒733 TEL082(292)5731
- 九州サービスステーション  
福岡市博多駅前4丁目(第5いそのビル202号) 〒812 TEL092(472)3016



**SANWA**

**三和電子機器株式会社**

●ラジコン事業部

大阪・東大阪市吉田札幌28-1 〒578

TEL0729(64)2531

東京・東京都台東区浅草橋3-18の1

〒111

TEL 03(862)8857

**SANWA**プロポ  
販売店控票

製品名

**EXERD**

製造番号

お買上日

ご愛用者名

電話番号

ご販売店様へ

1. お客様用控として切はなして保管下さい。
2. 販売店の署名・捺印を必ずして下さい。
3. ご販売の時必ずお買上げ日と有効期限を記入して下さい。
4. 裏面をよくご指導下さい。



**SANWA**プロポ保証書

製品型名

**EXERD**

製造番号

230500262

ご愛用者住所

〒 ( - )

TEL - -

お名前

保証期間

お買上げ日  
有効期限

年 月 日 )  
年 月 日 )

180日間

販売店名・印

上記の製品を裏面の通り保証します

三和電子機器株式会社

1. 本保証書は表面記入の製品型名・製造番号のみについて有効です。
2. 正常な使用状態において、製造上の責任による故障は6ヶ月(180日)以内弊社にて無償修理いたします。
3. 保証期間内でも次の場合は保証はできません。
  - イ. 電氣的、機械的に変更または手を加えられた場合。
  - ロ. 弊社でのサービス以外で修理された場合。
  - ハ. 使用上の操作の過失、または事故により発生した故障と認められた場合。
- ニ. 本保証書を紛失された場合、または修理の際添付されない場合。

# MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.

**SANWA**

Advanced Technology